

水曜日だけ開く架空の郵便局「鮫ヶ浦水曜日郵便局」、12/6(水)開局。 開局に向けて、シンボル「灯台ポスト」を準備中。



左：旧鮫ヶ浦漁港内へ通じる素掘りトンネル内部（撮影：森賢一）／右：シンボル「灯台ポスト」の完成予想図（イメージスケッチ：海子揮一）

一週間にたった一日、水曜日だけ開く郵便局。

そこに集まってくるのは、どこかの誰かの、とある水曜日の出来事が記された手紙。

宮城県東松島市宮戸島にある旧鮫ヶ浦漁港に、郵便局に見立てたポストを出現させ、水曜日の出来事が綴られた手紙を全国から募集する「鮫ヶ浦水曜日郵便局」。12/6(水)の開局に向けて、クラウドファンディングを実施しています。クラウドファンディングは開局前日の12/5(火)23:59まで、目標金額は350万円です。

旧鮫ヶ浦漁港現地では、開局へ向けた準備のひとつとして「灯台ポスト」の設置準備が進んでいます。「灯台ポスト」は水曜日の夜にだけ灯りが点る、鮫ヶ浦水曜日郵便局のシンボルであり、実際に水曜日の手紙が届く場所です。水曜日の手紙を最寄りの郵便ポストに投函すると、その手紙は「灯台ポスト」の受け箱に配達されます。手紙の宛先は12/6(水)に鮫ヶ浦水曜日郵便局ウェブサイト上で公開します。

灯台ポストのデザイン・製作は、仙台を拠点に活動する海子揮一氏（建築家/ブリコラージュ・ソーシャル・ワークス）、渡邊武海氏（デザイナー/メディア・ストラータ）が担当。灯りの電源供給システムは、大和町に本社を構える「株式会社プロジェクトウサミ」がオフグリッド太陽光発電システムを提供くださいます。灯台ポストの設営工事は11/20(月)に実施いたします。

また、12/6(水)の開局日当日は、実際の郵便配達員による灯台ポストへの『初めての手紙の配達』、『灯台ポスト点灯式』なども実施する予定です。

灯台ポストの設営工事や開局記念イベントなど、貴媒体にて、ぜひご取材いただきますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。

鮫ヶ浦水曜日郵便局 概要

- 実施期間：2017年12月6日(水)～2018年12月5日(水) ※予定 ■ 開催地：旧鮫ヶ浦漁港（宮城県東松島市宮戸）
- ウェブサイト：<https://www.samegaura-wed-post.jp/>
- キャッチコピー：トンネルをぬけると、そこには水曜日がありました。
- 局長/ディレクター：遠山昇司 ■ 管理人/プロデューサー：芹沢高志 ■ 配達員：高田彩、桃生和成
- 写真・動画撮影：森賢一 ■ ログ・グラフィックデザイン：吉本清隆 ■ ウェブサイトデザイン：泉田茜
- イラスト：小池アミイゴ ■ 局員帽子デザイン：スソアキコ ■ 灯台ポストデザイン・製作：海子揮一、渡邊武海
- 主催：水曜日観測所 ■ 後援：東松島市 ■ 協力：日本郵便株式会社東北支社、石巻郵便局、鳴瀬郵便局 ■ 企画協力：つなぎ美術館
- オフグリッド太陽光発電システム提供：株式会社プロジェクトウサミ
- 協賛 [11/15現在]：アサヒグループホールディングス株式会社、トヨタL&F宮城株式会社、宮城トヨタ自動車株式会社
- 助成：平成29年度宮城県文化芸術の力による心の復興支援助成金事業

クラウドファンディング 概要

- 期間：～12月5日(火)23:59まで ● 目標金額：350万円
- URL：<https://motion-gallery.net/projects/wed-post/>（MotionGallery内）

— 鮫ヶ浦水曜日郵便局 開局記念イベントのご案内 —

このトンネルの先に、鮫ヶ浦水曜日郵便局が誕生します。



■ 日時：2017年12月6日（水） 第一部 13:00～14:30 / 第二部 15:30～16:00

■ 場所：旧鮫ヶ浦漁港周辺（宮城県東松島市宮戸）

※ ご招待者様および報道関係者様のみご参加が可能です。お越し頂ける場合は、事前にお申込みをお願いいたします。

※ 集合場所はお申し込みいただいた方にご案内いたします。

■ 内容：▶▶▶第一部 13:00～14:30

(1) 鮫ヶ浦水曜日郵便局 局員による解説ツアー

局長の遠山昇司が“鮫ヶ浦水曜日郵便局が出来るまで”の様々な出来事をご紹介させていただきながら、大鮫隧道のトンネルを抜けて「鮫ヶ浦水曜日郵便局」までご案内いたします。

(2) 灯台ポストへ、初めての手紙配達・投函

開局期間中は、灯台ポストの受け箱へ、郵便配達員による手紙の配達・投函が実際に行われます。

開局記念イベントでは、第一回目の配達・投函の瞬間に立ち会っていただけます。

(3) 関係者ごあいさつ

鮫ヶ浦水曜日郵便局はたくさんの方々を支えられて開局を迎えます。東松島市のみなさま、宮戸島にお住まいのみなさま、郵便局関係者のみなさまをご紹介しますとともに、局員や、灯台ポストの制作メンバーをご紹介します。

▶▶▶第二部 15:30～16:00

(4) 灯台ポスト点灯式

「灯台ポスト」は、毎週水曜日の日没～深夜0時まで灯りが点る鮫ヶ浦水曜日郵便局のシンボルです。

開局記念イベントでは、灯台ポストの点灯式を実施いたします。

局員紹介



局長／ディレクター 遠山昇司（映画監督／赤崎水曜日郵便局長）

1984年、熊本県生まれ。法政大学国際文化学部卒業。ポストン大学留学。早稲田大学大学院国際情報通信研究科修了。『赤崎水曜日郵便局』では、システムを五十嵐靖晃氏と共に発案し、ディレクター・局長としてクリエイションに関する総合的なディレクションを行った。同プロジェクトは2014年度グッドデザイン賞を受賞。映画作品としては、『NOT LONG, AT NIGHT - 夜はながくない -』（2012）、『マジックユートピア』（2015 / 丹修一 共同監督）、『冬の蝶』（2016）などで監督・脚本を務めており、国内外の映画祭において高い評価を得ている。



管理人／プロデューサー 芹沢高志（環境計画家／P3 art and environment 統括ディレクター）

1951年東京生まれ。神戸大学理学部数学科、横浜国立大学工学部建築学科を卒業後、(株)リジナル・プランニング・チームで生態学的土地利用計画の研究に従事。89年にP3 art and environmentを開設。帯広競馬場で開かれたとかち国際現代アート展『デメテル』の総合ディレクター（2002年）、アサヒ・アート・フェスティバル事務局長（2003年～2015年）、横浜トリエンナーレ2005キュレーター、別府現代芸術フェスティバル『混浴温泉世界』総合ディレクター（2009年、2012年、2015年）、さいたまトリエンナーレ2016ディレクター（2016年）を歴任。



配達員 高田彩（コーディネーター／ビルド・フルーガス代表）

1980年、宮城県塩竈出身。エミリー・カー美術大学（カナダ・バンクーバー）卒業。

アーティストネットワーク「ビルド・フルーガス」代表（www.birdoflugas.com）、2006年宮城県塩竈にbirdo spaceを開廊。地域の人々を巻き込んだアートプロジェクトや、クリエイティブな視点と表現方法で新たに塩釜の魅力を伝えるウェブサイト「クラシオ」（www.kurashio.jp）等の企画運営を行う。2014年より塩竈市杉村惇美術館統括。宮城県文化芸術振興審議会委員、塩竈市海と社の景観審議会委員、仙台エスペラント会員。



配達員 桃生和成（コーディネーター／一般社団法人Granny Rideto 代表理事）

1982年仙台市生まれ。一般社団法人Granny Rideto代表理事。2008年、特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター入職。同年、多賀城市市民活動サポートセンターに勤務。2013年よりセンター長を務める。2016年3月、せんだい・みやぎNPOセンター退職。その他、東北の日常をおもしろくするつれづれ団や地域資源を活かした多賀城をあそぶプロジェクトなどで活動。

問い合わせ先

鮫ヶ浦水曜日郵便局 事務局 担当：松本・大曾根

〒162-0837 東京都新宿区納戸町12番地 第5長森ビル4階 P3内

TEL 03-5579-2724 FAX 03-5579-2722 MAIL info@samegaura-wed-post.jp



取材申込書

必要事項をご記入の上、下記までご連絡ください。

※いずれも一般の方には公開しておりません。お越し頂ける場合は、本紙にて事前にお申込みをお願いいたします。

ご希望の日程にチェックを入れてください。

- [1] 11/20 (月)：灯台ポスト設営工事 (工事予定が変更となる場合は、別途ご案内いたします)
- [2] 12/06 (水)：開局記念イベント (荒天が見込まれる場合は、別途ご案内いたします)
- [3] 現地取材のほか、電話取材等もお受けしております。

※ [1]・[2] にお申し込みいただいた方にそれぞれ、当日の集合時間・場所をご案内いたします。

※ [3] に関しましては、ご希望日時をお知らせください。

貴媒体名

ご担当者氏名

Eメール

電話番号 (取材日当日連絡用に、可能であれば携帯電話番号をご記載ください)

[3] をご希望される場合の希望日時

お問い合わせ・取材のご依頼

FAX 返信先 03-5579-2722

MAIL 返信先 info@samegaura-wed-post.jp

鮫ヶ浦水曜日郵便局 事務局 担当：松本・大曾根 までご連絡ください。